瑞浪市中山道ムカオーcar 運行事業 事業効果について

1. 人員目標について

- *目標100人対し、延べ乗車人員は52人（うち有料人員50人）となり、昨年を下回る結果となった。今年度は復路のみ当日予約を可能とし4名の予約があった。インバウンドについては利用者0人であった。9月の猛暑と10月は週末ごとの雨予報が要因の一つと考えられる。
- *今回は、県の東京事務所にチラシを設置いただき、関東圏（東京・神奈川・埼玉）で28%となり、愛知県限定で有料の記事配信を行い、愛知県が36%であった。
- *1人参加と2名参加がともに48.5%で各16組ずつとなり、少人数の参加が多かった。

2. アンケート結果について

- *任意のQRコード読み取りアンケートを実施したが、回答は1件のみで満足なアンケート結果は得られなかった。公共交通機関が無い為に、中山道を歩きたい方にとっては、便利が良く、秋以外（ゴールデンウィークなど）にも運行を望まれている。

3. 今年度事業の評価について

- *事業2年目の今年度は、インバウンド対策として、英語版チラシや申込フォームの作成、多言語コールセンターの利用を可能にしたが、一人も利用はなかった。ツアー参加で通訳コーディネーター同行のケースも多く、早くから旅行計画されている為、直前予約のこのシステムにそぐわないと思われる。
- *広報では、岐阜県の海外向けアカウントよりFacebookに掲載していただき、愛知県限定で、有料記事やInstagram配信を18歳～65歳に行い、低い年齢層に情報を届けることはできた。参加者の年齢層は全体的に高めと感じる。
- *当初の利用人数の目標に届いていない原因としては、天候が大きく関係してくることと、昨年の申込名と照らし合わせリピーターが0人であったことである。中山道を歩きたい方は、歴史的街道を踏破が目的ではないかと考える。2年続けての実証実験で得た結果と言える。

4. 来年度以降の事業展開について

- *瑞浪市に来年度も予算要求をすることができたが、承認されれば少し内容を検討しながら実施をしたいと考えている。
- *歩くための二次交通の需要は少数であり、今後利用が増えることなく一定数で落ち着くと思われるので、併用して琵琶峠のみを歩くイベントなども検討していきたい。
- *飲食店やお土産屋（きなあつ瑞浪）への誘導など、瑞浪市内にお金が落ちる仕組みとなるようにルートの検討をしていきたい。
- *瑞浪市地域公共交通協議会は1月29日（水）開催の為、そこでの意見を踏まえて次年度の計画を立てたいと考えている。